11/5 道通

土幌町から表示証受領

平田建設 消防団協力事業所に

【帯広発】㈱平田建設（士幌、長谷川雅毅社長）は10月30日、士幌町から士幌消防団協力事業所表示証の交付を受けた＝写真＝。高木康弘町長から表示証を手渡された長谷川社長は「今後もできる限り協力したい」と話した。

消防団協力事業所制度は、従業員等が消防団員として2人以上入団し、積極的に消防団の活動に取り組む事業所に対し、表示証を交付するもの。認定を受けた事業所は、取得した表示証の社屋掲示や自社ホームページなどでの公開が可能になり、事業所の信頼性向上に資することが期待される。



同社は、町が制度を制定した2016年度から協力事業所に認定されており、今回で6回目となっている。

交付式には、長谷川社長や消防団に入団する椿真嗣技術審査部長と竹市友彦土木課長らが出席。高木町長が長谷川社長に表示証を手渡した。

高木町長は、同社が職場全体で消防団の加入や活動などに支援していることに感謝した上で「防災力の一層の充実強化が図られるよう、引き続きの支援・協力をお願いしたい」と呼びかけた。

長谷川社長は「今後もできる限り協力したい。当社からの所属団員の増員も考えたい」と話した。

11/5 建設

消防団協力事業所 士幌町から交付

平田建設

【帯広】平田建設（本社・士幌）は10月30日、士幌町から消防団協力事業所の表示証を交付された＝写真。2年ごとの更新で5回目の交付。活動は10年に入った。

椿真嗣技術審査部長と竹市友彦土木課長が2016年に入団。毎月の訓練や春秋の火災予防運動などに従事してきた。



高木康弘町長は「消防団員が減少し続ける中、事業所の支援に感謝している。今後も消防、防災力の向上に協力してほしい」と述べた。